

授業科目 大学英語A・B (スピーチ)

【担当教員名】 五十嵐紀子	対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・栄養・社会
	開講時期	前期・後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【一般目標：G10】
人前で効果的に話をするために必要なパブリックスピーチの基本的事項を学習し、スピーチ原稿の書き方、発音やイントネーションなどの音声面や、身振り・姿勢などを含めた話し方を実践を通して学ぶ。学期の最後には、公開でスピーチの発表会を行い、授業で学んだことを実践する。

- 【行動目標：SBO】
1. パブリックスピーチの基本的概念について説明できる。
 2. スピーチを行う目的に応じた話し方について説明できる。
 3. スピーチを行うために必要な準備について理解し、説明できる。
 4. 上記2,3を実践し、「説得」を目的とするスピーチをすることができる。
 5. 他者のスピーチを聴き、理解・分析することができる。

回数	授業計画又は学習の主題		SBO	
			番号	学習方法・学習課題又は備考
1	オリエンテーション	スピーチの目的 (情報伝達、説得、楽しませる、儀礼的)	1.2	講義、ディスカッション
2	説得のスピーチ	コミュニケーションの目的としての説得とは。説得のための手段	1.2.5	講義、ディスカッション
3	準備の基本	トピック選定、目的設定、聴衆分析、情報収集、原稿作り、練習	1.2	講義、ディスカッション
4	模擬スピーチ①	日本語による説得のスピーチの準備	1.2.3	個別学習、個別指導
5	模擬スピーチ②	日本語によるスピーチの発表	4.5	発表、相互評価
6	スピーチの準備①	模擬スピーチのフィードバックとトピックの選定	1.2.3.5	講義、ディスカッション
7	スピーチの準備②	原稿作り	2.3.4	個別学習、個別指導
8	スピーチの準備③	原稿作り	2.3.4	個別学習、個別指導
9	スピーチの準備④	原稿作り	2.3.4	個別学習、個別指導
10	スピーチの準備⑤	原稿作り	2.3.4	個別学習、個別指導
11	スピーチの準備⑥	練習	2.3.4	個別学習、個別指導
12	スピーチの準備⑦	練習	2.3.4	個別学習、個別指導
13	スピーチの準備⑧	練習・リハーサル	4.5	発表、相互評価、相互評価
14	発表会	公開でスピーチの発表会を行う	4.5	発表、相互評価

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	指定しない			
参考書	カーネギー 話し方入門	市野安雄 (訳)	創元社	2003年発行 1,500円 指定図書として図書館に所蔵
その他の資料	必要に応じてハンドアウトを配布する。			

【評価方法】 毎時間の取り組み、授業外での発表準備、学期末のスピーチ発表等を総合的に評価する。	【履修上の留意点】 ・スピーチ原稿の添削、発音指導など授業外での個別指導が必要になるため、計画性を持って課題をこなすこと。 ・スピーチの原稿作成・修正、情報収集などにPCを使用する。各自ノートパソコンを持参すること。
--	--

全科共通科目 教養